

令和7年度 地域連携推進会議 議事録

事業所名	障害者支援施設 赤城野荘、障害者支援施設 ルンビニー苑、あかぎのホーム		
開催日時	令和7年12月5日（金）13：30～15：00		
開催場所	前橋あそか会 赤城野荘 会議室		
出席者	構成員	人数	備考
	職員	5	常務理事、施設長、サービス管理責任者
	入居者	3	
	入居者ご家族	4	保護者会長 他
	地域の関係者	1	自治会長
	福祉に知見を有する方	1	社会福祉法人 職員
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会・挨拶 2. 出席者紹介 3. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1)法人運営状況報告 (2)各事業所の詳細報告 (3)質疑応答・意見交換 (4)施設見学 4. 閉会 		
協議内容・意見等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会・挨拶 <ul style="list-style-type: none"> ・会議の目的 入所施設（赤城野荘、ルンビニー苑、あかぎのホーム）は在宅サービスと異なり外部から活動内容が見えにくい特性がある。地域住民や家族に対して、施設の運営状況、サービス質、虐待防止、権利擁護の取り組みなどを報告し評価・助言をいただくことで、より開かれた施設運営を目指すものである。 ・障害観の変遷 以前は機能障害・能力障害に焦点を当てた医療モデル（ICIDH）が主流、現在は個々の生活機能や多様性を重視する生活モデル（ICF）へ転換。個々の能力だけでなく環境や社会との関わりの中で「何ができるか」を重視する考え方を法人として大切にしている。 2. 略 3. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1)法人運営状況報告 <ul style="list-style-type: none"> ・経営状況 対象事業（赤城野荘、ルンビニー苑。あかぎのホーム）はいずれも黒字経営を維持しており健全な運営体制にある。 ・事故・苦情等（令和6年度） 		

赤城野荘（あかぎのホーム） 重大事故 2件（骨折等）
ヒヤリハット 5件
苦情 0件
虐待 0件

ルンビニー苑 重大事故 0件
ヒヤリハット 10件
苦情 1件（適切に対応済）
虐待 0件

・職員の労働環境

労災認定件数

令和6年度 22件（うち利用者対応中の負傷12件）

令和7年度 11件（9月まで）

適応障害等による休職者

令和6年度1件、令和7年度2件、継続的なフォローを行っている。

・地域貢献活動の実施

「イエローフェスタ inASOKA」を開催。（年1回）

地域住民、学生（高校・短大）を巻き込んだ法人最大のイベント。

「前橋あそか会こども食堂」を開催。（毎月第3木曜日）

開始から1年半が経過し地域に定着している。

(2)各事業所の詳細報告

赤城野荘

・沿革 昭和42年設立、設立から58年目を迎える。

・利用者状況 定員60名

平均年齢54歳、20代から80代の3世代が集団生活をしている。

・入退所の状況

令和6年度 入所2名、退所1名、入所待機者は約50名。

・防災体制

福祉避難所に指定されており地域災害発生時の受け入れ体制を整えている。

・感染症対策

集団生活のためリスクは高いが現在は健康管理を徹底しており大規模なクラスターの報告はなし。

あかぎのホーム

・構成

江木団地内に3ユニット、堤町に男性用(6名)、女性用(4名)の計5ヵ所で展開。

・活動内容

コロナ禍で停滞していた外出などの社会経験の機会を、移動支援サービスを活用して再開。地域活動への参加を通じ利用者が自ら助けを求められる環境づくりを推進。

・利用状況

ほぼ満床、江木団地のユニットに3名空きがあり、現在は体験利用に活用している。

ルンビニー苑

・沿革 平成15年に赤城野荘から分割して誕生。名称は釈尊誕生の地「ルンビニ」に由来する。

・利用者状況 定員60名 平均年齢56歳、高齢化が進んでいる。利用者の高齢化に伴い、支援だけでなく介護のニーズが高まっている。職員の研修を強化している。

・感染症の発生

10月末より結膜炎が拡大し利用者・職員17名が感染。11月にはインフルエンザが発生し4名が感染するがBCPに基づき対応。入所施設としてサービスを止めない体制を維持している。

(3)質疑応答・意見交換

・地域の歴史について

長年住む地域にこれほど多くの事業があるとは知らなかった。法人が地域に根ざし貢献していることを心強く感じる。

・鳥獣被害（クマ）について

最近のクマ出没に関する情報交換があった。職員が帰宅時に遭遇しないよう建物近くに車を止めるなどの対策をしている。またクマ除けの鈴やスプレーを準備している。

・地域行事について

イエローフェスタに多くの学生が参加しているのが素晴らしい。若い世代が福祉に関心を持つきっかけになっている。地域に開かれた施設として今後も継続してほしい。

・跡地利用について（建物解体後の計画）

当初は特別養護老人ホームを移転・新築する計画だったが建築資材の高騰により現在は厳しい状況。当面は地域の方々に活用していただけのような広場としての利用も含め検討していきたい。

(4)施設見学

赤城野荘、ルンビニー苑、あかぎのホームの施設見学を行う。